



石巻港復興だより 第9号

(石巻港湾ひばいの通信 32号)

— 港湾は人の心も結んでいます —

3.11 東日本大震災追悼式にあわせ 米軍艦「マックャンベル」が入港しました。

石巻河北総合センタービッグバンにて執り行われる追悼式に参列するため、米軍艦『マックャンベル』、海上自衛隊護衛艦『たかなみ』が石巻港区雲雀野中央埠頭へ入港しました。

震災発生時間の14時46分には、汽笛吹鳴と黙祷を行い、犠牲者を追悼しました。



米軍艦: MCCAMPBELL 号

総トン数 9,790t 全長 155.2m 全幅 20.1m
乗員 380名



海上自衛隊護衛艦: たかなみ

総トン数 6,500t 全長 151.0m 全幅 17.4m
乗員 175名



左: たかなみ

右: マックャンベル

その他12日には雲雀野幼稚園を慰問、13日にはスポーツ交流等が行われ、14日に出港しました。

石巻港区中島埠頭に「にっぽん丸」が入港しました

2月6日から8日まで、石巻港区中島埠頭3号岸壁に客船『にっぽん丸』(総トン数22,472t 全長266.65m)が入港しました。



内閣府主催の「グローバルリーダー育成事業」の一環で、日本と世界8カ国の青年約160人が国内研修で石巻市を訪問し、東日本大震災の被災と復興状況を視察し、地域住民と交流しました。

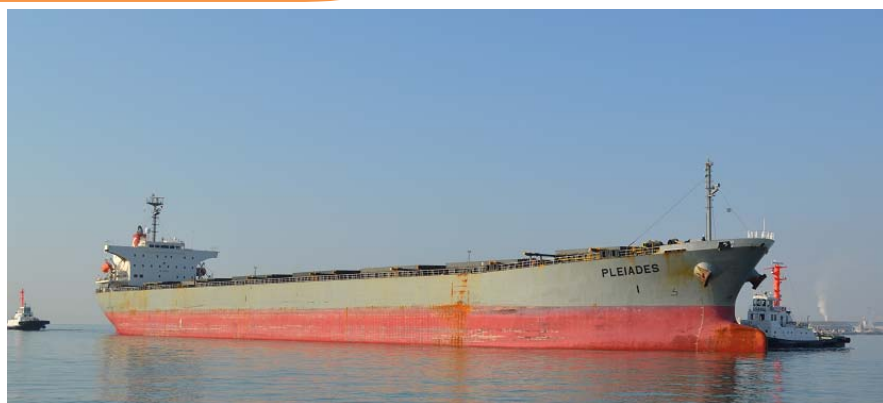
事業は国際的視野とリーダーシップを兼ねそろえた人材育成を狙いとしており、今回の石巻市訪問は、被災地の現状と復興を正しく理解することを目的としていました。

研修で得た貴重な経験を活かし、将来皆さんが世界でご活躍されることをご期待しております。



★昼の姿も雄大ですが、夜もまた一段と映える装いです★

パナマックス船第2船が入港しました！



石巻港区日和埠頭7号岸壁に、昨年11月15日に引き続き、2月25日にパナマックス船『PLEIADES』が入港しました。

(総トン数35,878t、全長225m、全幅32m、載貨重量トン68,962t) アメリカニューオーリンズから、飼料原料となるコーン、DDGS(穀物粕)が輸入されました。

公共岸壁の復興が順調に進み、港は様々な大きさの船が行き交い賑わってきています。定期的なパナマックス船の入港を期待しております。

放射線について安全性を引き続き確認しています

石巻港では、大気中の放射線量を週2回(火曜日・金曜日)、海水中の放射線濃度を概ね2週間に1回程度測定し、港の安全性を確認しています。

大気中の放射線量

月	各月平均値	各月最大値
1月	0.048	0.066
2月	0.053	0.066
3月	0.055	0.064

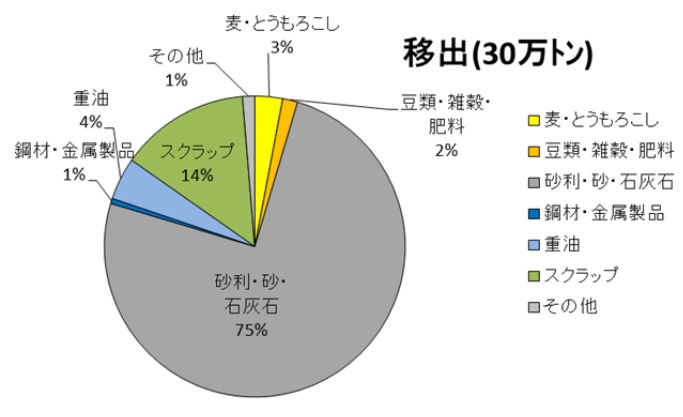
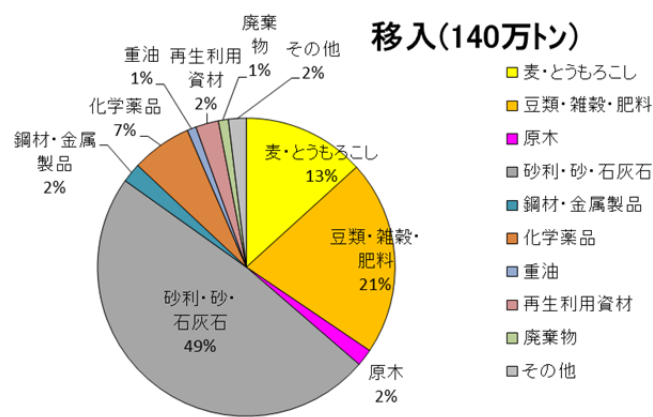
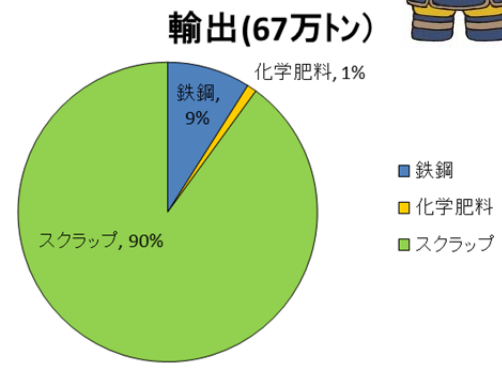
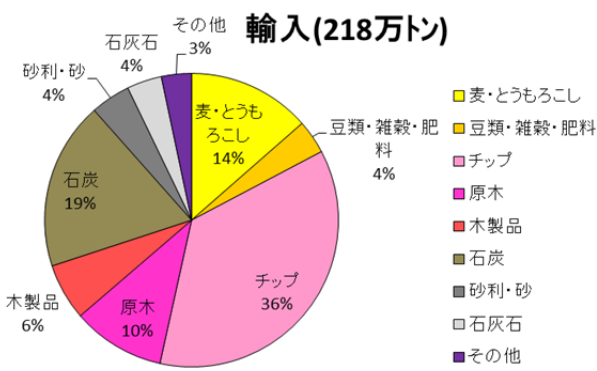
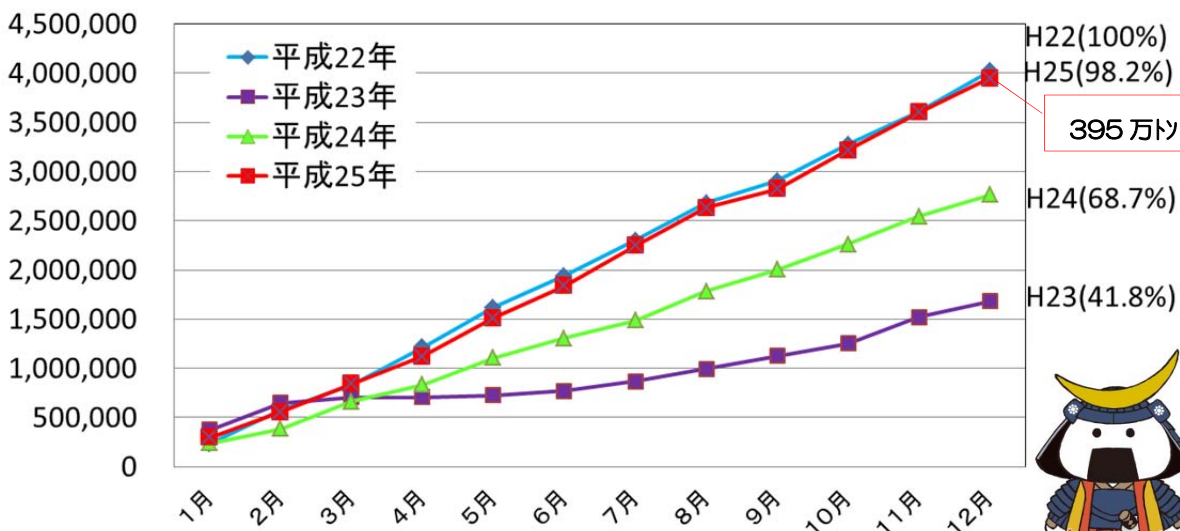
(単位 μ Sv/時)

海水中の放射線濃度

月	放射線ヨウ素	放射性セシウム
1月	不検出	不検出
2月	不検出	不検出
3月	不検出	不検出

H25 取扱貨物量が順調に回復！約395万ト(H22比98.2%)

取扱貨物量(累計)の比較



仙台塩釜港石巻港区雲雀野中央埠頭 SOLAS ゲートの運用を再開しました！

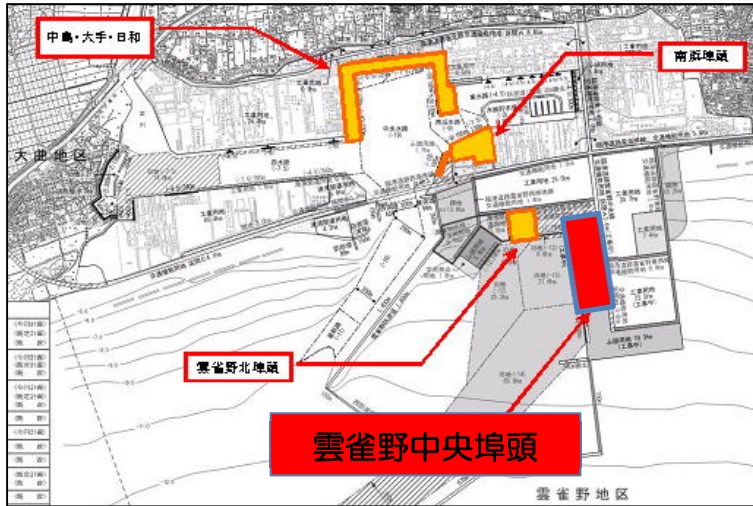
東日本大震災の影響により運用を停止しておりました SOLAS ゲートですが、この度フェンス復旧工事が完了した雲雀野中央埠頭において SOLAS の運用を再開いたしました。

このため、雲雀野中央埠頭へ入出する際には身分証明書による3点確認を受けるか、または、PS カード(制限区域立入許可証)の提示が必要となり、自由に入出入りする事は出来ませんのでご了承ください。

詳しくは石巻港湾事務所港政班までお問い合わせください。

その他の SOLAS ゲートにつきましても今後、復旧に伴い随時運用を再開する予定です。

運用再開日時 : 平成26年3月25日(火) 10:00より
警備員立哨による中央メインゲート開放時間 : 06:00~22:00, 23:00~23:10



立哨員のチェックを受けてください。

石巻港湾事務所管内の復旧進捗状況

石巻港区の災害復旧は平成 25 年度までに発注を行った工事の多くが完了し、港湾施設は工事費ベースで 9 割近くの復旧が完了しました。また、東浜防潮堤工事が着工し、海岸施設の着手率が件数ベースで 8 割を超えました。

地方港の港湾施設の着手率は雄勝港唐桑・浪板地区の復旧工事の着手により、件数ベースで 100%となりました。

		災害費(千円)		実施額(千円)		着手率		完了額(千円)		完了率	
		件数 ①	工事費 ②	件数 ③	契約工事費 ④	件数 ③/①	工事費 ④/②	件数 ⑤	契約工事費 ⑥	件数(%) ⑤/①	工事費(%) ⑥/②
仙台塩釜港 石巻港区	港湾	39	8,726,166	37	7,843,350	94.9%	89.9%	30	7,709,899	77%	88%
	海岸	6	5,090,729	5	4,685,033	83.3%	92.0%	3	1,444,988	50%	28%
	計	45	13,816,895	42	12,528,384	93.3%	90.7%	33	9,154,887	73%	66%
女川港	港湾	9	2,369,113	9	1,927,470	100.0%	81.4%	3	696,020	33%	29%
	海岸	6	4,901,961	3	3,314,056	50.0%	67.6%	0	0	0%	0%
	計	15	7,271,074	12	5,241,527	80.0%	72.1%	3	696,020	20%	10%
雄勝港	港湾	10	1,819,234	10	1,801,792	100.0%	99.0%	1	267,616	10%	15%
	海岸	8	10,465,286	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0%	0%
	計	18	12,284,520	10	1,801,792	55.6%	14.7%	1	267,616	6%	2%
金華山港	港湾	4	1,163,050	4	1,233,106	100.0%	106.0%	1	9,994	25%	1%
	海岸	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	計	4	1,163,050	4	1,233,106	100.0%	106.0%	1	9,994	25%	1%
表浜港	港湾	4	756,884	4	842,587	100.0%	111.3%	2	115,239	50%	15%
	海岸	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	計	4	756,884	4	842,587	100.0%	111.3%	2	115,239	50%	15%
荻浜港	港湾	5	709,541	5	774,286	100.0%	109.1%	1	31,023	20%	4%
	海岸	2	908,760	0	0	0.0%	0.0%	-	-	-	-
	計	7	1,618,301	5	774,286	71.4%	47.8%	1	31,023	14%	2%
地方港 計	港湾	32	6,817,822	32	6,579,242	100.0%	96.5%	8	1,119,891	25%	16%
	海岸	16	16,276,007	3	3,314,056	18.8%	20.4%	0	0	0%	0%
	計	48	23,093,829	35	9,893,298	72.9%	42.8%	8	1,119,891	17%	5%
合計	港湾	75	15,543,988	69	14,422,592	92.0%	92.8%	38	8,829,790	51%	57%
	海岸	22	21,366,736	8	7,999,090	36.4%	37.4%	3	1,444,988	14%	7%
	計	97	36,910,724	77	22,421,682	79.4%	60.7%	41	10,274,778	42%	28%

石巻港区の復旧状況

石巻港区では中島 15,000t 岸壁をはじめとして、ほぼ全ての岸壁・荷捌地の復旧工事が完成しました。



①大手 1 号岸壁



②大手 5 号岸壁



③大手上屋



④大曲防波堤



⑤大曲-2m 物揚場



⑥東護岸



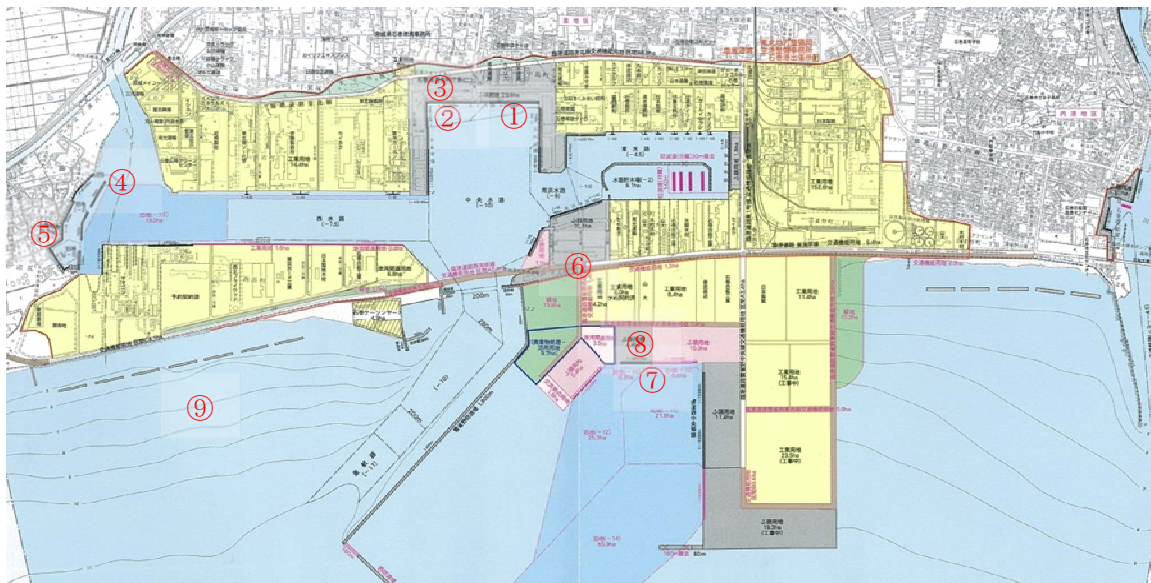
⑦雲雀野北埠頭岸壁



⑧雲雀野北埠頭荷捌地



⑨西浜離岸堤



地方港の復旧状況

<女川港>

○高白地区 (完成)



○横浦地区 (完成)



○大石原地区 (完成)



○石浜地区 (進捗率85%)



○女川港湾口防波堤

(28箇中13箇据付が完了)



<荻浜港>

(進捗率65%)



<表浜港>

(進捗率60%)



<雄勝港>

○立浜地区(進捗率60%)



○大浜地区(進捗率75%)



○水浜地区(概成)



○金華山港（進捗率 75%）



秋田県・富山県の応援職員が離任されました

自治法派遣職員として秋田県・富山県こられた6名の方が3月31日離任されました。併任期間は長い方で2年5ヶ月、短い方で6ヶ月に渡りました。災害査定から復旧までを担当して頂き、石巻の復興に尽力され大変お世話になりました。



前列右より山本さん(富山)、石川さん(秋田)、寺井さん(富山)
後列右より大庭さん(秋田)、大島さん(秋田)、菅原さん(秋田)

編集後記

今年度、1年を振り返ってみました。復興に向けた工事は石巻港・地方港ともに順調に進み、取扱い貨物量も、震災前までにあと一步と言うところまで回復し、復調ぶりが伺えます。今年度のNO. 1はと言いますと、パナマック船の入港ではないかと思えます。長い貨物船を写真等で見たことはありますが、実際に見た時はすごく感動しました。更に客船や艦船の入港もあり、賑わいのあった1年ではなかったでしょうか？26年度からはいよいよ防潮堤工事に取りかかる予定です。更なる復興・発展に努め震災前を上回る入港と貨物取扱量の増加を目指して行きすので、よろしくお願いします。

編集事務局

宮城県石巻港湾事務所

〒986-0845 石巻市中島町17-2

電話: 0225-95-6271 (総務班)

同-6272 (港政班)

同-6251、0167 (工務班)

FAX: 0225-95-6273

E-MAIL: iskown@pref.miyagi.jp

HP: <http://www.pref.miyagi.jp/is-kouwan/>